

日本ウマ科学会 2019年度 第2回常任理事会議事録

日時：2019年2月22日（金）13：30～15：45

場所：日本装蹄協会 会議室（JRA 新橋分館 7階）

出席者： 青木 会長
田谷 副会長
田嶋 副会長
近藤 庶務担当常任理事
半澤 会計担当常任理事
楠瀬 編集担当常任理事
桑原 国際担当常任理事
石田 学術担当常任理事
和田 広報担当常任理事
佐々木 臨床担当常任理事
太田 事務局長

オブザーバー：笠嶋快周（JRA 総研 臨床医学研究室長：次期庶務担当常任理事）
成田正一（JRA 総研 企画調整室 上席調査役：次期事務局長）

議題：

1. 第31回学術集会開催報告
2. 2019年活動計画について
3. 役員の変更について
4. 第32回学術集会予定
5. その他
 - 1) 認定馬臨床獣医師制度について
 - 2) 学会賞・奨励賞・功労賞の選考について
 - 3) VetPD 開催協力について
 - 4) 賛助会員の現状について
 - 5) 会員情報管理システムの新機能について
 - 6) 「馬の科学」の廃刊について

議事概要：

議題 1.

- 第31回学術集会では、一般講演38題（対前年比－6題）、JRAとの合同シンポジ

ウム、受賞講演 2 題および臨床委員会主催の症例検討会が行われ、参加者は過去 3 番目の 387 名（会員 262 名・非会員 82 名・学生 43 名）であった。例年開催していた臨床委員会主催の招待講演は行わなかった。

- 来年から会場使用料が 6～7%程度の値上げになる予定だが、学術集会開催にかかる固定費（講師交通費や謝礼などを除く）は約 200 万円程度であり、今後も参加費収入との収支バランスは維持できる見込み。
- 臨床委員会主催のセミナーでは、外国人講師を 2 名招聘したことで交通費支出が大幅に増加したため、本年度は DVD 作製を見送った。

議題 2.

- 事務局より、2019 年度活動計画（案）の説明があり、原案通り承認された。
- 次回の常任理事会までに、次期役員と各賞受賞候補者を検討する。

議題 3.

- 3/1 付の JRA 定期人事異動に伴い、副会長が田嶋義男⇒平賀 敦（JRA 総研 所長）、庶務担当常任理事が近藤高志⇒笠嶋快周（JRA 総研 企画調整室長）、事務局長が太田 稔⇒成田正一（JRA 総研 企画調整室 上席調査役）にそれぞれ変更となる予定。その他、一部の評議員および各委員も変更となる予定。

議題 4.

- 第 32 回学術集会は 2019 年 11 月 25～26 日に KFC Hall and Rooms で開催予定。
- 2 日目午後にメイン会場でシンポジウム「オリンピック馬術をもっと知ろう！（仮）」を開催予定。
- 臨床委員会主催の招待講演については、同時期に VetPD（詳細は後述）で来日予定の Dr. Florent David（Equine Veterinary Medical Center, Doha, Qatar）と現在交渉中のため、その結果を受けて改めて時間枠の調整をする。
- 2 日目に認定馬臨床獣医師認定試験（60 分）を行う予定。
- 一般講演以外のプログラムは、次回の常任理事会までに確定させる。

議題 5. 1)

- 佐々木臨床担当常任理事より、認定馬臨床獣医師制度の認定規程、試験実施要領、業務委託契約、会計（今年度予算）についての説明があった。
- 制度の導入に関しては承認が得られたが、複数の理事から、「将来的に制度を維持・定着させていくためには、資格を取得することのメリットを明確にすべき」との意見が出された。
- 認定規程については、改めて内容を精査した上で、できるだけ早期の制定・施行を目指す。
- すでに総会で承認された通り、会計については、受験料および更新手数料を主な収

入源とし、本体会計からは独立して運営する。ただし、決算および次年度予算については、一般会計と同様に 11 月の監事監査を受けた上で、常任理事会において審議する。

議題 5. 2)

- 特に検討事項はなし。次回の常任理事会までに受賞候補者を検討する。

議題 5. 3)

- 世界各国で獣医師を対象とした講習会を主催している団体 VetPD (Veterinary Professional Development) より、本学会に対し、日本国内での馬臨床獣医師を対象とした講習会の開催協力依頼があった。学会員にとっても貴重な機会であることから、全面的に協力することとし、JRA に対して診療施設の借用を依頼した。
- 2019 年 11 月 23～24 日に JRA 栗東 TC 競走馬診療所で開催予定。

議題 5. 4)

- 安齊 了会員が JRA 関連の外郭団体に働きかけたところ、賛助会員に 8 社 8 口の入会申込があり (内 1 社 1 口は再入会)、現時点で 19 社 20 口となっている。

議題 5. 5)

- 事務作業効率化のため、会員情報管理システムに新機能を追加した。

議題 5. 6)

- JRA 総研が発行し、全会員に配布している「馬の科学」が、本年末 (Vol.56, No.4) をもって廃刊となる。廃刊後は Hippophile への投稿を推奨している。

その他

- 田谷 JES 編集委員長より、インパクトファクター取得に向けての今後の取り組みについて説明があった。